

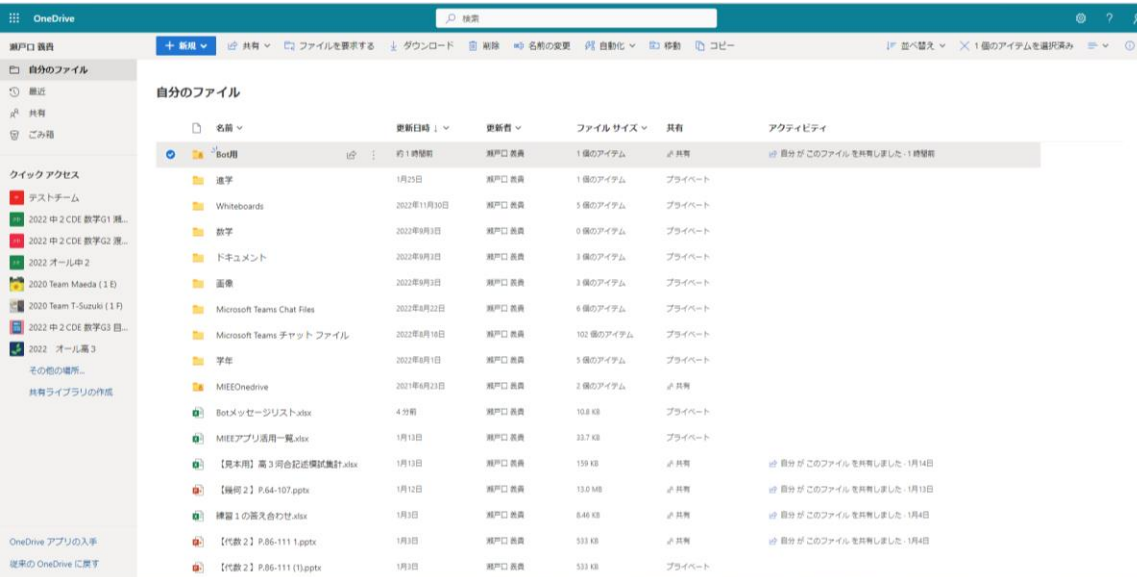
# 【Power Automate】

TeamsメッセージBot マニュアル

Power Automate



Microsoft Teams



自身のOneDriveに共有可の「Bot用」フォルダを作成。  
この中にTeamsにアップしたいデータ等を保存していきます。



「Botメッセージリスト.xlsx」（このマニュアルをダウンロードしたHPの次の行にあります）を「Bot用」フォルダ内に共有可の状態で作成。

Excelの中にはこのようなテーブルがあります。

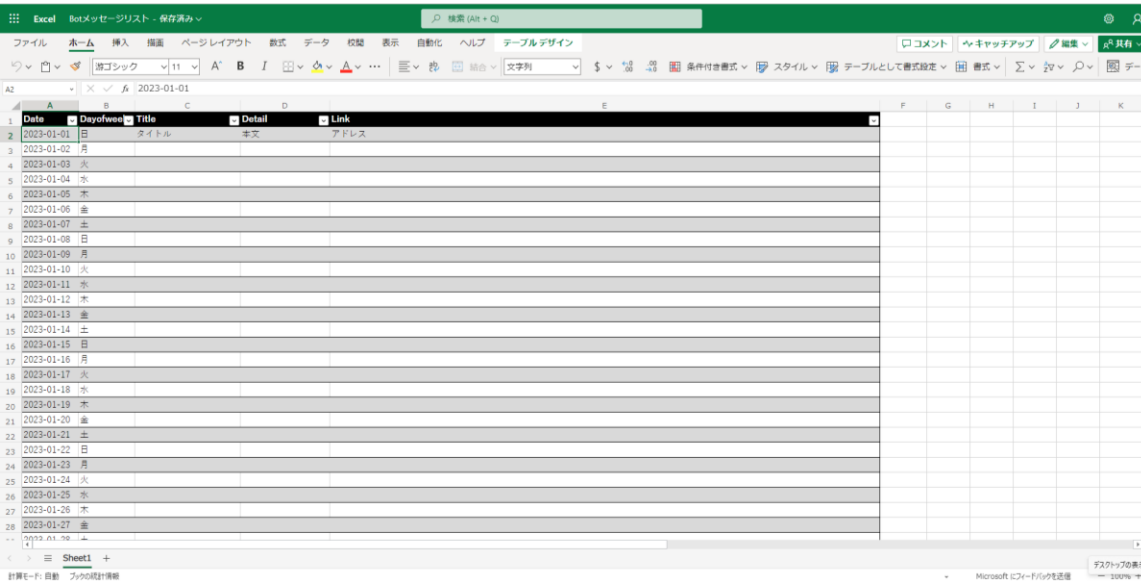
- Date：配信日一覧。

配信しない日はDateのセルを空欄にする。

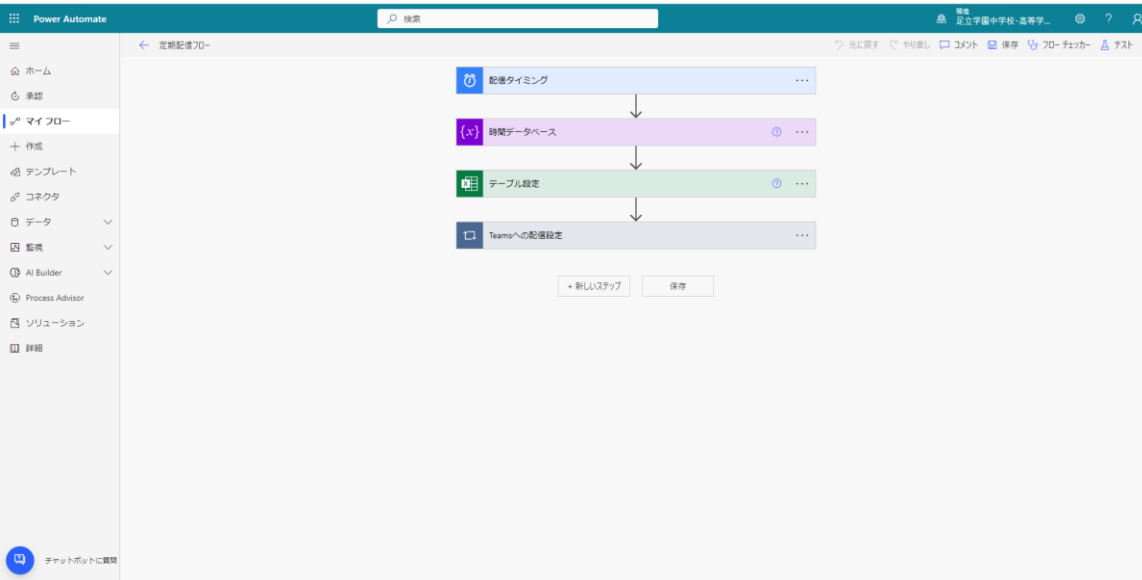
※空欄にしないと空のメッセージが  
配信されてしまいます。

- Title：Teams投稿のタイトル。
- Detail：Teams投稿の本文。
- Link：投稿に作成するリンク。Webアドレスも  
One Drive内のデータリンクも可。

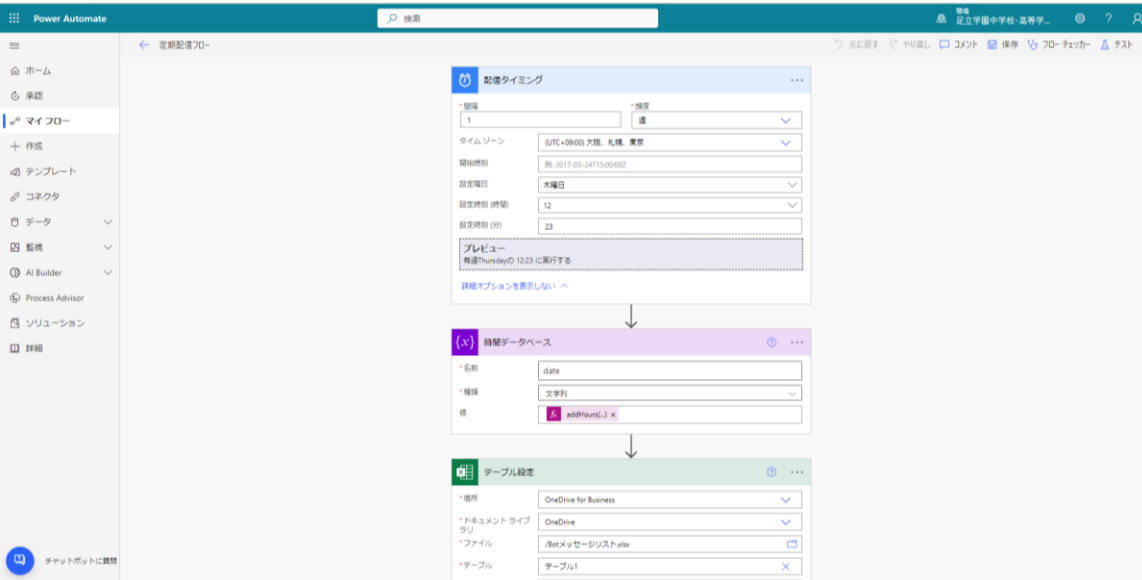
※Power Automateの設定が完了すれば  
あとはこのエクセルを編集するだけで  
自動配信され続けます。



Date	Dayofweek	Title	Detail	Link
2023-01-01	日	タイトル	本文	アドレス
2023-01-02	月			
2023-01-03	火			
2023-01-04	水			
2023-01-05	木			
2023-01-06	金			
2023-01-07	土			
2023-01-08	日			
2023-01-09	月			
2023-01-10	火			
2023-01-11	水			
2023-01-12	木			
2023-01-13	金			
2023-01-14	土			
2023-01-15	日			
2023-01-16	月			
2023-01-17	火			
2023-01-18	水			
2023-01-19	木			
2023-01-20	金			
2023-01-21	土			
2023-01-22	日			
2023-01-23	月			
2023-01-24	火			
2023-01-25	水			
2023-01-26	木			
2023-01-27	金			



「Power Automate TeamsメッセージBot作成」の動画を  
見てフローを作成。



色がついたバーをクリックすると、  
左図のように各項目（トリガー・アクションといいま  
す）の詳細が見られます。

## 配信タイミング（トリガー）

以下の項目を自由に設定

- ・ 設定時刻（時間）
- ・ 設定時刻（分）

※間隔は1、頻度は日でOK

配信の日付はExcelのDateで決まります。

ExcelでDateが入力されていない日や過去の配信日は自動配信に影響しません。

### 配信タイミング

\*間隔: 1

\*頻度: 日

タイムゾーン: (UTC+09:00) 大阪、札幌、東京

開始時刻: 例: 2017-03-24T15:00:00Z

設定時刻 (時間): 7

設定時刻 (分): 00

**プレビュー**  
毎日の 7:00 に実行する

[詳細オプションを表示しない](#) ^

{x} 時間データベース	
*名前	<input type="text" value="date"/>
*種類	<input type="text" value="文字列"/>
値	<input type="text" value="fx addHours(...) x"/>

### 時間データベース（アクション）

Excelの一覧から今日配信するメッセージを見つけるための関数です。



テーブル設定

*場所	OneDrive for Business
*ドキュメントライブラリ	OneDrive
*ファイル	/Bot用/Botメッセージリスト.xlsx
*テーブル	テーブル1
フィルタークエリ	Date eq {x} date x
並べ替え順	エンtriesの順序を指定するための ODATA orderBy クエリ。
上から順に取得	取得するエンtriesの合計数 (既定値 = すべて)。
スキップ数	スキップするエンtries数 (既定値 = 0)。
クエリの選択	取得する列のコンマ区切りリスト (既定では最初の 500 列)。
DateTime 形式	ISO 8601

[詳細オプションを表示しない](#) ^

### テーブル設定 (アクション)

「Botメッセージリスト.xlsx」と紐づけるためのものです

Teamsへの配信設定

\* 以前の手順から出力を選択

value x

チャットまたはチャンネルでメッセージを投稿する

\* 投稿者 フロー ボット

\* 投稿先 Channel

\* Team テストチーム

\* Channel General

\* Message

```
</>
<h1> Title </h1>
<p> Detail </p>
<a href=" Link " target="_blank" rel="noopener noreferrer">リンク</a>
```

アクションの追加

## Teamsへの配信設定（アクション）

以下の項目を自由に設定。

- Team
- Channel

そのほかは編集の必要ありません。

Messageの「リンク」3文字は好みのテキストに編集可。

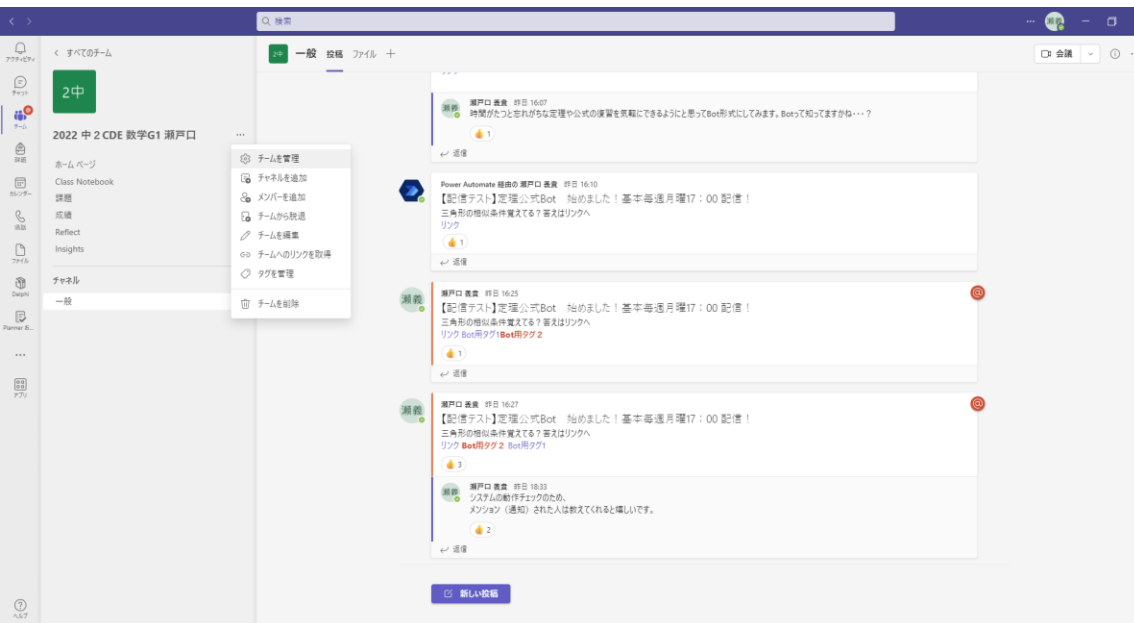
フォントもコードにより編集は可。

※メンションはTeamsで生徒をタグ付けし、

タグ付けしたメンバーへメンションが可能。

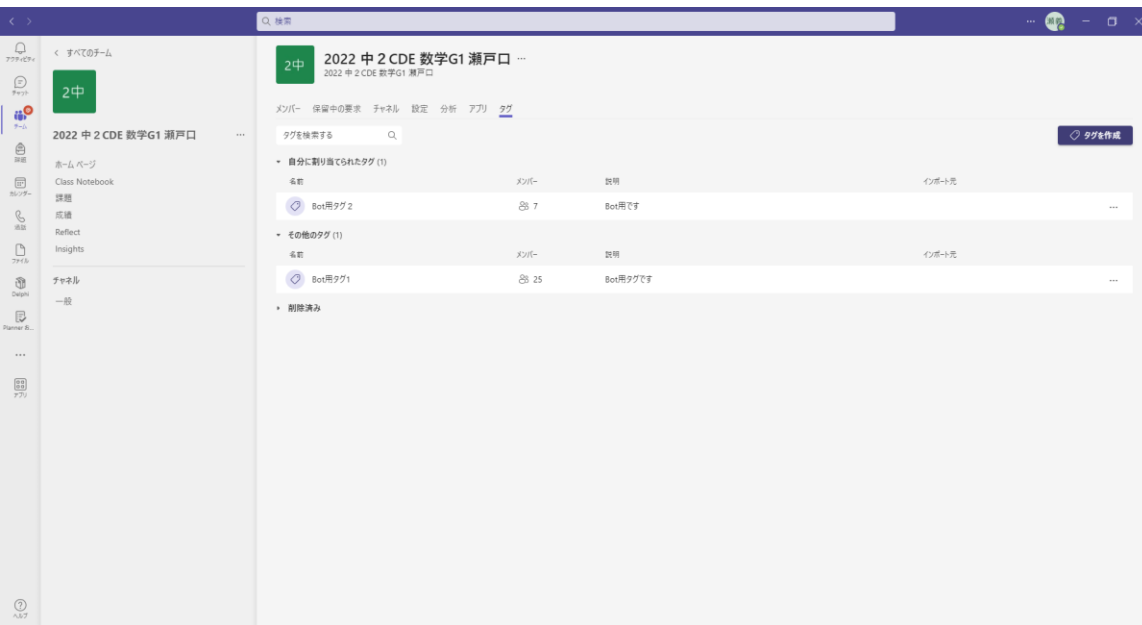
メンションする場合は投稿者をユーザーにしておく。

メンションの必要がなければこちらの設定はいりません。



Teamsの「チームを管理」

メンションの必要がなければこちらの設定はいりません。



上部の「タグ」タブから「タグを作成」

メンションの必要がなければこちらの設定はいりません。

### 新しいタグの作成



タグ名 0/40

文字、数字、スペース、絵文字を使用できます

タグの説明

このタグの意味をユーザーに知らせる

ユーザーを追加

名前を入力

作成

タグ名、そのタグの説明を編集し、ユーザーを一人ずつ検索して登録。

※1つのタグに25人しか入力できません。

足りない場合はもう一つタグを作成。

メンションの必要がなければこちらの設定はいりません。

操作を選択してください

コネクタとアクションを検索する

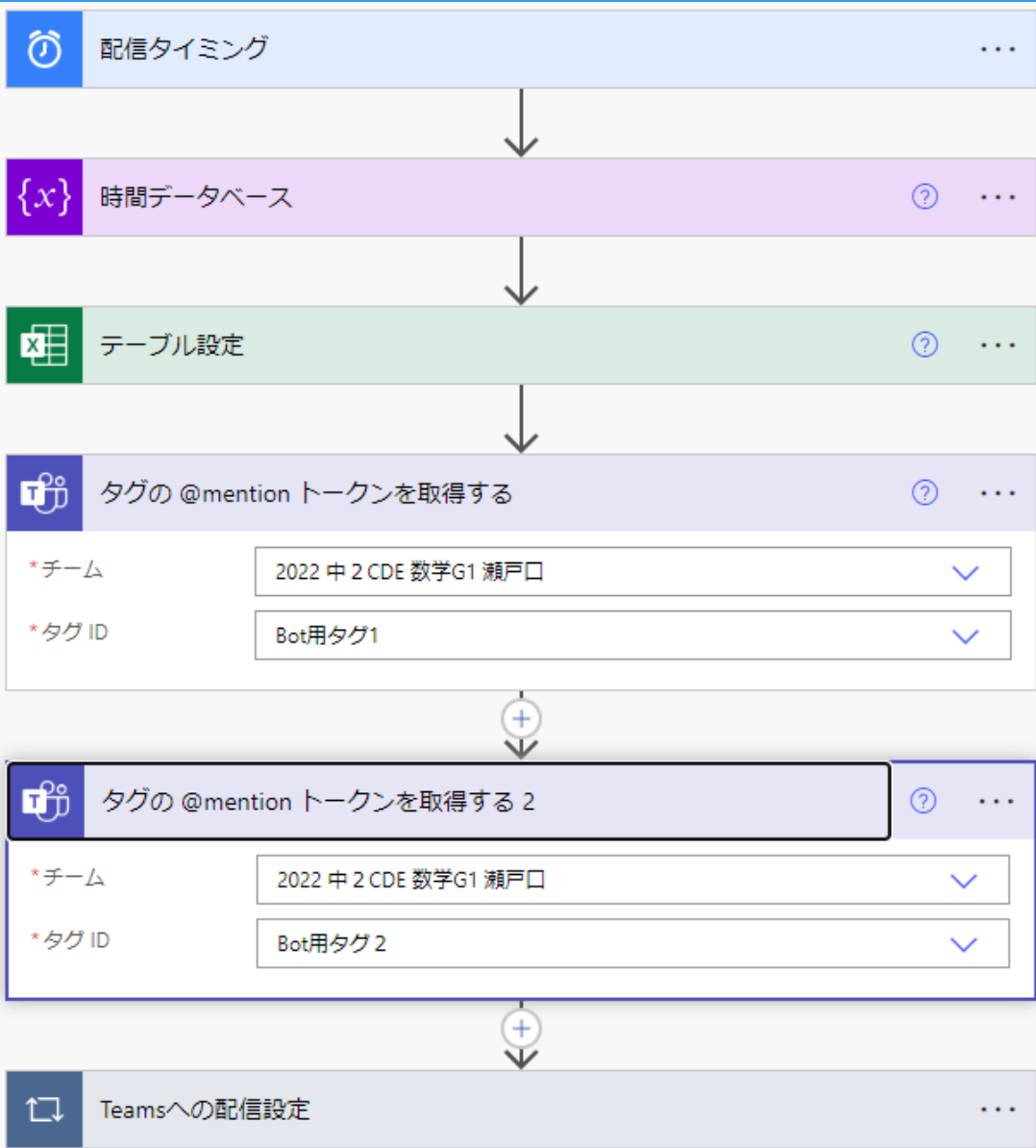
すべて 組み込み 標準 プレミアム カスタム 自分のクリップボード

コントロール AI Builder Desktop flows Excel Online (Business) Mail Microsoft Dataverse **Microsoft Teams**

トリガー アクション もっと見る

- 条件 コントロール
- AI Builder フィードバックループにファイルを保存 (プレビュー) AI Builder
- ID ドキュメントから情報を抽出する AI Builder
- カスタム モデルの1つを使用してテキストからエンティティを抽出する AI Builder
- カスタム モデルの1つを使用してテキストをカテゴリに分類する AI Builder
- テキストからキー フレーズを抽出する AI Builder

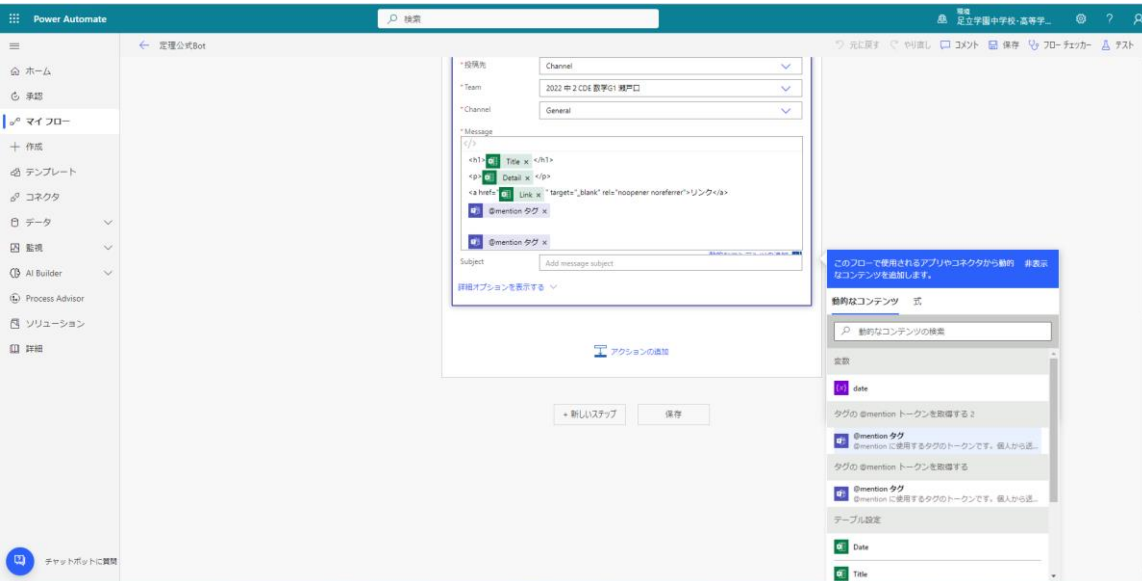
テーブル設定とTeamsへの配信設定の間の+マークをクリックし、「Microsoft Teams」の項目からアクション「タグmentionトークンを取得する」を追加。



メンションの必要がなければこちらの設定はいりません。

「タグmentionトークンを取得する」のチーム、タグIDをボックスクリックにより選択。

メンションの必要がなければこちらの設定はいりません。



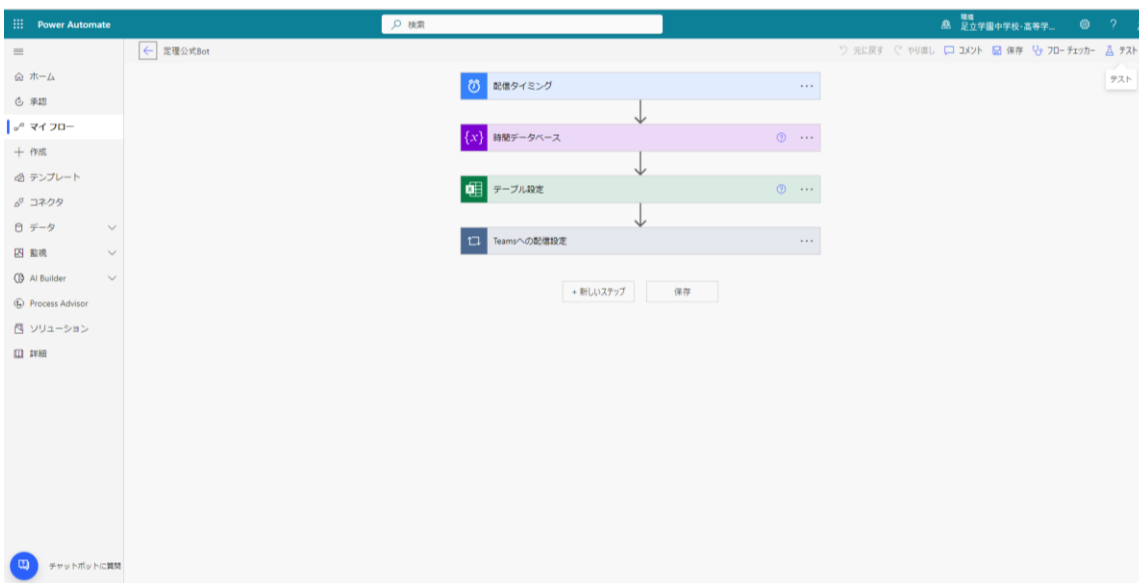
「Teamsへの配信設定」Messageの欄をクリックし、  
「動的コンテンツの追加」から「@mentionタグ」を選択。

これでタグメンションの設定は終了です。

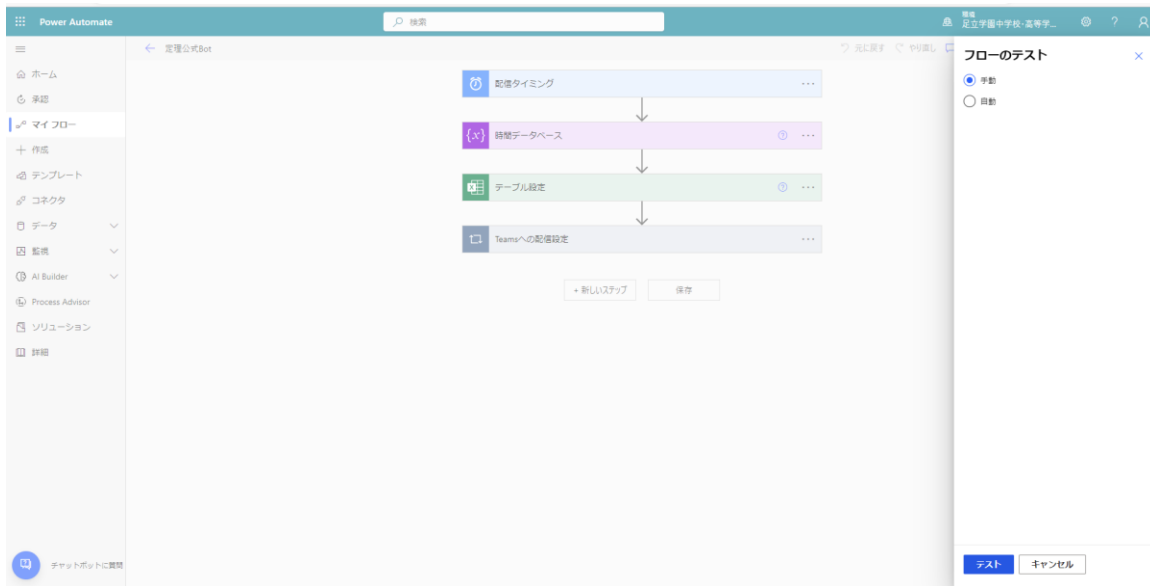




保存。



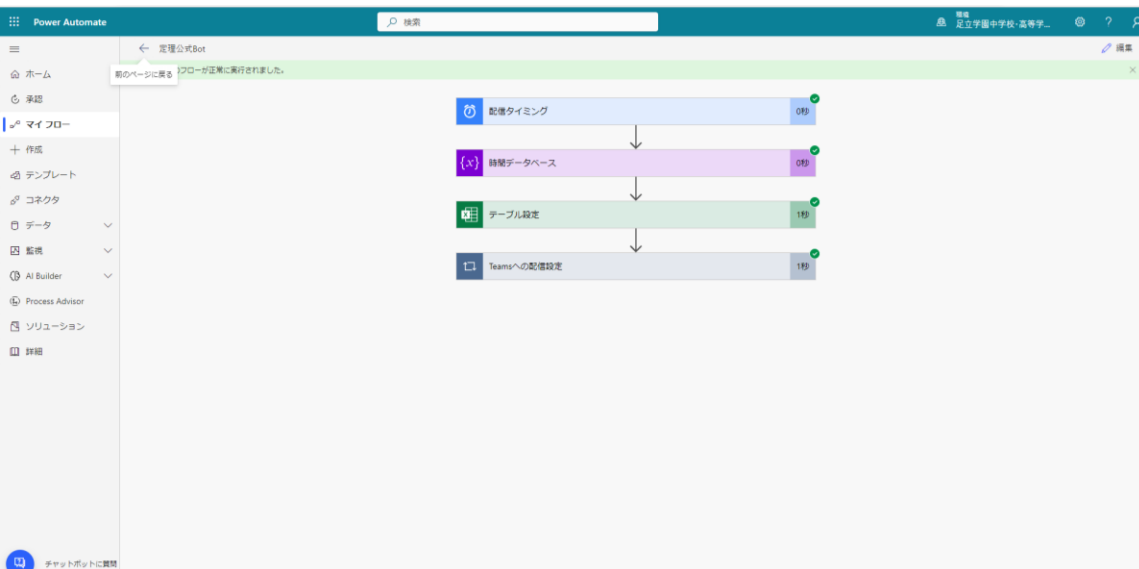
画面右上の「テスト」を押して動作を確認。



手動にチェックを入れて、テスト⇒フローの実行⇒完了  
問題がなければ無事設定完了。



←こんな感じでTeamsに投稿されるか確認。



左上の←を押して前の画面に戻る。

画面左側のメニューには「マイフロー」が選択されています。中央には「定連公式Bot」のフローの概要と実行履歴が表示されています。

開始	時間	状態
2月21日 14:28 (53 秒 前)	00:00:02	テストに成功しました
2月22日 14:27 (2 分 前)	00:00:02	テストに成功しました
2月22日 12:27 (2 時間 前)	00:00:02	テストに成功しました
2月22日 12:23 (2 時間 前)	00:00:02	成功
2月22日 12:18 (2 時間 前)	00:00:05	テストに成功しました
2月22日 12:16 (2 時間 前)	00:00:02	テストに成功しました

右下の「フローの実行」ボタンが強調されています。

画面上部の「実行」を押して、右下のフローの実行。

あとはスケジュール通り配信されます。